

**解き放て
すべての力を
この一瞬に**

第263号 令和元年12月24日発行

| | |
|------------------------------|-------|
| 体育祭 | 1・2・3 |
| 特集『70年の時を越え～今、そして未来へ』シリーズIII | |
| 卒業生に聞く～活躍する先輩たち～ | 4 |
| 矢内理絵子さん | 5 |
| 荒井敦史さん | 6 |
| 谷口凜さん・永沼宏之さん | 7 |
| 合唱コンクール | 8・9 |
| PTA活動・家庭教育セミナー・ | |
| ロードレース大会・表彰者 | 10 |

第70回 行田中学校 9/21

体育祭

突き上げる 団結という名の輝くこぼし



3年 大ムカデ



「さらなる飛躍を」

体育主任 高橋 真奈美

今年度も多くの方にご尽力いただき、無事開催することができました。選手たちの本気の声援と足音が響く一日になりました。競技は勝敗がつくものですが、行事に向けての日々を振り返れば、仲間を認め合う楽しさや、困難を乗り越える知恵と勇気を得ることができたのではないのでしょうか。その姿勢があれば、今年の体育祭にはどのクラスにも負けなかったのだといえます。

体育祭で培った力を強みに、さらなる飛躍を期待します。

天候の悪い日が続くなか、短い練習時間で生徒たちが団結し、最後までやり遂げた姿には、たくさんの笑顔が輝き熱い一日となりました。



2年 いなばの白うさぎ



「輝いた体育祭」

実行委員長 狩浦 斗希

体育祭当日は雨が予報されていて運営できるか心配だったけれど、みんなの気合で無事に行うことができました。

全学年どのクラスも1位を目指して一生懸命体育祭に取り組んでいました。

【突き上げる 団結という名の 輝くこぼし】のスローガンのもと、みんなが団結してやり遂げ、中学校生活の思い出に残る素晴らしい体育祭にすることができました。



優勝

- 1年3組
- 2年1組
- 3年2組



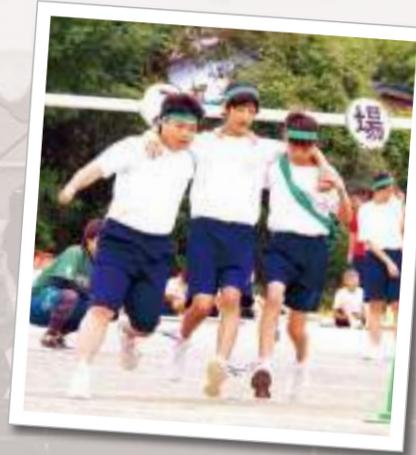
キマッた!?



ガンバレー!



看板を作成してくれた美術部の皆さん



1年 台風の日



今、できる限りの努力を 惜しまないで

やうち りえこ
女流棋士 矢内 理絵子 さん



女流棋士として…高藤も 創立70周年を迎える行田中にメ ッセージをお願いします。

生徒さんたちが笑顔で振り返れる、良い3年間を過ごせる学校であり続けてもらいたいと思います。
— 当時はどんな中学生でしたか？ —
活発ではなかったもので、穏やかに過ごしていました。男子たちに将棋が流行っていて、休み時間とか一緒に将棋したり。授業の時間にうっかりかかった時に、先生に将棋の駒と盤を窓から捨てられたこともありました。

— 印象に残っている思い出は？ —

運動部に入ると疲れて将棋の勉強ができなくなるから、父から「ダメ」と言われて、合唱部だけが文化的な感じが入りました。夏休みに大宮のソニックシティで歌ったのは思い出になりましたね。中学校のお友達と一緒に大会に向かって頑張った記憶になりました。
— 志すきっかけは、お父様の影響？ —
きっかけは父ですね。子どもの頃は何をしても親がルールを敷いてくれないと、いろいろできないので、そのルールの上をひたすら

走っていたら、女流棋士になれたという感じがします。女流棋士になつてからは、当然周りはプロで対戦する人は強くて、「このままではいけない」と思い、自分でタイトルを目指したりとか、意気を持って考え始めました。
— 進学の際は、自分はどう道が決まっていたのか？ —
進学の時は、自分はもう道が決まっていたので、そこに「なんかつまらない」という思いがあったり。ピアノが好きで、「音楽の道に行きたいな」というのが漠然とあったので、そういうところで高藤はありましたね。
— 対局前に必ずすることは？ —
げん担ぎは負けると何もなくなってしまう感じがなので、そういうものは一切なしにして、毎回毎回新しい気持ちで臨むようにしています。
— タイトル戦と和服を着るのには？ —
和室で和服に身を包んで勝負するというのは、一枚の絵のような美しさがある、子どもの頃から思っていたので、「タイトル戦に出られるようになったら和服で！」という気持ちで育ちました。
— 今後の大きな目標は？ —
何かリーグ入りして、ファンの目につくような活躍ができるように戻れたらいいなと思います。とりあえず目の前の対局を頑張ると子どもも

走っていたら、女流棋士になれたという感じがします。女流棋士になつてからは、当然周りはプロで対戦する人は強くて、「このままではいけない」と思い、自分でタイトルを目指したりとか、意気を持って考え始めました。
— 進学の際は、自分はどう道が決まっていたのか？ —
進学の時は、自分はもう道が決まっていたので、そこに「なんかつまらない」という思いがあったり。ピアノが好きで、「音楽の道に行きたいな」というのが漠然とあったので、そういうところで高藤はありましたね。
— 対局前に必ずすることは？ —
げん担ぎは負けると何もなくなってしまう感じがなので、そういうものは一切なしにして、毎回毎回新しい気持ちで臨むようにしています。
— タイトル戦と和服を着るのには？ —
和室で和服に身を包んで勝負するというのは、一枚の絵のような美しさがある、子どもの頃から思っていたので、「タイトル戦に出られるようになったら和服で！」という気持ちで育ちました。
— 今後の大きな目標は？ —
何かリーグ入りして、ファンの目につくような活躍ができるように戻れたらいいなと思います。とりあえず目の前の対局を頑張ると子どもも



解らないなりに、「勝ってくれてありがとう」と言ってくれるので、子どもが喜んでくれるような活躍ができたらいなと思います。
— 故郷・行田について。 —
行田は凄く緑も多くて流れている時間が穏やかに感じます。東京のこう、せかせかした感じからみて、帰ってくるとやっぱりホッとします。それとよく古墳にも行きました。将棋でスランプになったりすると、ちよつと古墳に登って景色見たりとかしました。
— 大事なことは —
自分の夢に向かう第一歩だと思つたので、とにかく悔いを残さないように、今できる限りの努力を惜しまないでください。集中して、やはり段取りつて凄く大事だと思つたので、一人で勝手に決めないで、よく親と相談しながらやっていってほしいと思います。

昭和55年生まれ。
女流棋士 女流五段。
日本将棋連盟女流棋士会元会長。
8歳で父親に将棋を教わる。
平成2年に女流育成会に入会。
平成5年4月プロ棋士(中2)。
平成18年に第32期女流名人位を獲得、続く第33期、第34期も防衛を果たし女流名人位3連覇。これまでにタイトルを多数獲得。
平成25年4月に女流棋士会会長に就任。行田市の観光大使も務める。
平成25年冬学期から、東京大学大学院総合文化研究科客員准教授に就任。今年度から対局に復帰。
現在2児の母。



「慧眼」「真善美」と書いていただきました。どちらも備えた人になりたいものです。

創立70周年記念

卒業生に聞く

～活躍する先輩たち～

行田中学校のあゆみ

| | | | |
|--------|---------------------|-------|---------------------|
| 昭和24年 | 市制施行により行田市立第一中学校に改称 | 平成6年 | 柔道県大会優勝 |
| 昭和25年 | 行田中学校に改称 | 平成7年 | 埼玉PTA機関紙シキル銅賞 |
| 昭和26年 | 第1校舎新築 校章制定 | 平成8年 | 全日本陸上大会出場 |
| 昭和27年 | 3月10日に開校式を挙行 | 平成9年 | 新体育館完成 |
| 昭和28年 | 水道施設ができる | 平成10年 | 全日本陸上大会出場 |
| 昭和29年 | 校旗、校歌が制定される | 平成11年 | 校庭整備工事完了 |
| 昭和30年 | PTA研究会 | 平成12年 | 新プール完成 |
| 昭和31年 | 学校体育大会総合優勝 | 平成13年 | 全日本陸上大会出場 |
| 昭和32年 | PTA広報紙「行中」創刊 | 平成14年 | 校舎耐震・内外装工事完成 |
| 昭和33年 | PTA広報紙「行中」創刊 | 平成15年 | 体育館壁面校歌大額完成 |
| 昭和34年 | 野球部県大会優勝 | 平成16年 | 全日本陸上大会優勝 |
| 昭和35年 | 校庭拡張 | 平成17年 | テニス部県大会優勝 |
| 昭和36年 | NHKラジオ合唱コンクール第2位 | 平成18年 | 全道小中学校PTA新聞シキル |
| 昭和37年 | NHKラジオ合唱コンクール第2位 | 平成19年 | 学校新聞の部14・15・16年連続受賞 |
| 昭和38年 | 科学展全国第3位 | 平成20年 | ホームページ開設 |
| 昭和39年 | 体育館兼講堂完成 | 平成21年 | 陸上全国大会出場 |
| 昭和40年 | 生徒会の歌制定 | 平成22年 | 埼玉PTA広報紙シキル銅賞 |
| 昭和41年 | 特別教室増築 | 平成23年 | 水泳全国大会出場 |
| 昭和42年 | 学校体育大会総合優勝 | 平成24年 | 創立60周年記念講演 |
| 昭和43年 | 学校体育大会総合優勝 | 平成25年 | 水泳関東大会出場 |
| 昭和44年 | 特別教室増築 | 平成26年 | 空手道全国大会出場 |
| 昭和45年 | 走り幅跳び日本新記録 | 平成27年 | 特別教室エアコン設置 |
| 昭和46年 | 前庭舗装及び花壇整備 | 平成28年 | ボウリング全日本大会優勝 |
| 昭和47年 | 小さな親切運動全国表彰 | 平成29年 | ボウリング全日本大会優勝 |
| 昭和48年 | PTA広報紙を「たまに」改称 | 平成30年 | 空手道全国大会3位 |
| 昭和49年 | PTAバレーボール大会開始 | 令和元年 | 全道小中学校PTA新聞シキル |
| 昭和50年 | 校庭整備工事完了 | | PTA広報の部優秀賞毎日新聞社賞 |
| 昭和51年 | 埼玉PTA機関紙シキル51年創賞 | | 体育館耐震工事完成 |
| 昭和52年 | 埼玉PTA機関紙シキル52年創賞 | | 全国小・中学校・PTA新聞シキル |
| 昭和53年 | 新校舎完成(4階建) | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和54年 | 外構工事完成 校庭整備地 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和55年 | 通信陸上三種競技B全国優勝 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和56年 | 埼玉PTA機関紙シキル56年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和57年 | 校庭整備工事完了 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和58年 | 埼玉PTA機関紙シキル58年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和59年 | 埼玉PTA機関紙シキル59年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和60年 | 埼玉PTA機関紙シキル60年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和61年 | 埼玉PTA機関紙シキル61年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和62年 | 埼玉PTA機関紙シキル62年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和63年 | 埼玉PTA機関紙シキル63年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和64年 | 埼玉PTA機関紙シキル64年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和65年 | 埼玉PTA機関紙シキル65年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和66年 | 埼玉PTA機関紙シキル66年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和67年 | 埼玉PTA機関紙シキル67年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和68年 | 埼玉PTA機関紙シキル68年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和69年 | 埼玉PTA機関紙シキル69年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和70年 | 埼玉PTA機関紙シキル70年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和71年 | 埼玉PTA機関紙シキル71年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和72年 | 埼玉PTA機関紙シキル72年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和73年 | 埼玉PTA機関紙シキル73年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和74年 | 埼玉PTA機関紙シキル74年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和75年 | 埼玉PTA機関紙シキル75年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和76年 | 埼玉PTA機関紙シキル76年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和77年 | 埼玉PTA機関紙シキル77年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和78年 | 埼玉PTA機関紙シキル78年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和79年 | 埼玉PTA機関紙シキル79年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和80年 | 埼玉PTA機関紙シキル80年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和81年 | 埼玉PTA機関紙シキル81年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和82年 | 埼玉PTA機関紙シキル82年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和83年 | 埼玉PTA機関紙シキル83年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和84年 | 埼玉PTA機関紙シキル84年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和85年 | 埼玉PTA機関紙シキル85年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和86年 | 埼玉PTA機関紙シキル86年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和87年 | 埼玉PTA機関紙シキル87年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和88年 | 埼玉PTA機関紙シキル88年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和89年 | 埼玉PTA機関紙シキル89年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和90年 | 埼玉PTA機関紙シキル90年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和91年 | 埼玉PTA機関紙シキル91年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和92年 | 埼玉PTA機関紙シキル92年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和93年 | 埼玉PTA機関紙シキル93年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和94年 | 埼玉PTA機関紙シキル94年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和95年 | 埼玉PTA機関紙シキル95年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和96年 | 埼玉PTA機関紙シキル96年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和97年 | 埼玉PTA機関紙シキル97年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和98年 | 埼玉PTA機関紙シキル98年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和99年 | 埼玉PTA機関紙シキル99年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |
| 昭和100年 | 埼玉PTA機関紙シキル100年創賞 | | シキルPTA広報の部優秀賞 |

創立70周年記念式典が挙行されました



10月31日(木)、体育館アリーナにて行田市立行田中学校創立70周年記念式典が挙行されました。安藤校長先生の式辞では行田中学校の輝かしい歴史が述べられました。そして鈴木PTA会長の挨拶と続き、校歌斉唱では生徒たちのはつらつとした歌声が、会場に響き渡っていました。

本校卒業生で女流棋士の矢内理絵子さんによる講演「夢に近づく思考法」では、将棋から学んだ5つの思考法、～集中力・決断力・忍耐力・失敗に対応する力・常に先を読む「3手の読み」～について、そして物事を考える時、判断する時には、一ヶ所だけではなく全体を物事を広く見る「一望千里」や、大局観を持って決めると良いことを、とても解りやすくお話いただきました。そして生徒皆さんに、積極的で前向なチャレンジャー精神をいつまでも忘れずに持ち続けて欲しいと話されました。



最後に今泉生徒会長のお礼の言葉と花束贈呈を行い、閉式となりました。

行田市の市制施行と同時期に開校した本校も、めまぐるしく変化して来た時代とともに七十年という歴史を積み重ねてきました。その歴史の各ページには、当時の行田生の笑顔や汗や涙の青春が色鮮やかに描かれています。そして、そのページの背景には、いつも家族や地域の方が写っており、開校から常に学校と家庭・地域がひとつになって子どもたちを育ててきた本校の誇りは今も受け継がれています。これは今までも、またこれからも変わることはありません。

今、時代は急激に少子化と高齢化が進んでおり、将来的に再編や統合の可能性を含めて、未来の学校の姿を想像することは容易ではありません。しかし、子どもたちが大人になるために学び、育つ学校として、この行田中の誇りをこれからも末永く継続することが私達の使命であることを強く感じています。

本校を卒業した二二、二二九名が大切に育んできた「行中魂」をしっかりと受け止め、そして自分たちの力でさらに強い絆として次の時代へ繋ぐことを二人一人が胸に秘めて令和の時代も前へ進んで参ります。



校長 安藤 秀一

創立七十周年おめでとうございます。行田中PTA広報紙は、開校五年目に発足したPTAとともに創刊されました。当時は「行中」という名でした。こちらをひもといてみますと、昭和の文字中心の紙面から西暦二〇〇〇年以降の写真中心の紙面へと、時代とともに紙面の雰囲気は変わっていきつつ、活発な生徒たちに熱心な先生方、子を思う保護者の方々、そしてそれを見守る地域の方々の姿は、変わらずに綴られています。現在のように校内が整備され、落ち着いた環境で学べるのは、ひとえに歴代の校長先生や諸先生方、PTAの方々のご尽力の賜物と存じ、感謝を申し上げます。

時代は令和になりましたが、時代が変わっても、子どもたちを未来の社会を担う大人へと育てていくことは、変わりません。学校・家庭・地域を繋ぐPTAとして、これからも支えていきたいと存じます。



PTA会長 鈴木 則行

これまでの七十年をこれからも

時代が変わっても変わらぬ

ONE TEAM

たにぐち りん
県立熊谷高校ラグビー部2年 **谷口 凜** さん



身長168cm
体重97kg(チーム最重量)
ポジションはプロップ(PR)
プロップはスクラム最前列3人のうち左右に位置する。なおラグビーのポジションは大きくフォワードとバックスに分かれ、スクラムはフォワードの8人で構成される。

日本中が熱狂の渦に包まれたラグビーワールドカップ。日本代表のチーム力に魅せられ、仲間とは信頼とは何かを教えられた。ラグビーのポジションはそれぞれ役割があり、一人ひとりの力が必要で、誰一人としてなくてはならない存在なのだ。取材を進めると本校卒業生がラグビーで活躍しているようだ。その中の一人、平成29年度卒業生の谷口凜さんに話を聞いた。



ラグビー部に入ったきっかけは？
叔父が社会人ラグビートップリーガーの選手だったので。
練習はどのくらいしている？
平日は放課後1時間半〜2時間くらいで、月曜日が休み、土日は練習試合が多いです。
強い身体を作るために、食事で気を付けていることはある？
休み時間ごとにチキンを食べています(笑)。お昼は毎日1リットル容量のお弁当箱いっぱい、ご飯1合とおかずを詰めて食べてます。保護者には個別に栄養指導があるんですけど、勉強して帰ると遅い時間になるので、僕の場合、夕飯は炭水化物抜きでタンパク質中心です。
進学校ですが、勉強と部活の両立はどのようにしていますか？

「諦めず続けてると良いことはあるよ」って思う

あらい あつし
俳優 **荒井 敦史** さん



平成5年生まれ。
平成20年「第21回ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト」でビデオジェニック賞を受賞(中3)。
ドラマや映画、舞台など幅広く活躍中。映画「悪の教典」、ドラマ「デジタル・タトゥー」などに出演。映画「神さまの轍」では主演を務める。
最近では、ドラマ「まだ結婚できない男」や「いだてん〜東京オリンピック噺〜」に出演。
BS-TBS時代劇「水戸黄門」では格さん(渥美格之進)役を務める。
今後は、BSプレミアム「柳生一族の陰謀」に徳川忠長役で出演する。

漠然と「普通の人生じゃ嫌だな」って
創立70周年を迎える行田中にメッセージをお願いします。
本当に、おめでとうございます。僕の青春は行田中で形成されているので、感無量です。行田出身の芸能人にスターダストレビューの根本さんがいますけれど、僕もその一員になって良かったと思います。
―当時どんな中学生でしたか、また印象に残っている思い出は？
活発な感じの中学生だったと思います。部活はサッカー部でひたすら走ってばかりいました。それから掃除の時間は楽しかったですね。斉藤教頭先生と一緒に木を切る掃除の担当とかやってました。バックネット裏の木を切っていて、そのまま転落したこともあり。怪我はしなかったですけど、いろいろやってましたね。
―俳優を志したきっかけは？
僕、芸能界入ろうと思ってなかつたんです。テレビを見ながら親に「普通の人生じゃ嫌だな」って漠然とした事を言ったら、親が「ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト」を知っていて、それに応募して。コンテストの最終選考は11月末頃で、もし万が一残った時の受験も考えないといけないし、進路が決まらねえと大変でした。最終的に上手く行って一番最初に進路が決まりました。何も知らない状態で芸能界に入つて、中学生だけ子どもではなく、ちゃんと大人として扱われる世界で、取材のアンケートの締切りを数日遅れ怒鳴られたこともあり。当時のマネージャーにはいろいろ叱られました。それからレズンやお芝居をきちんとやっていこうと思えました。
―主演を務めた映画「神さまの轍」ではプロレーサーの役ですが、普段からロードバイクに乗られているんですか？
都内とかもちろん乗ってますよ。自転車は便利ですからね。ロードバイクを初めて知ったのは、行田中の担任の亀里先生でした。先生は桐生の方に住んでいて、そこから東京湾の方まで週末にロードバイクで行くんです。



こだまの職場体験記事を見て懐かしむ荒井さん。荒井さんはスーパーに行ったそうです。

―今後の挑戦してみたい役は？
先生役とかやってみたい。医療系だったり刑事だったり、いろいろ幅広く来た役はやりたくなつて思っています。時代劇もやっていきたいし。23歳の若さで国民的な時代劇「水戸黄門」に格さん役として入れたのは凄く貴重だったし、良かったなと思います。
住みやすくていい行田
行田って万能だと思っんです。子育てするにはちょうど良いですよ。住みやすくて、都内に行きますつてなつた時に、2、3時間もかかるほど遠くないし。かと言って自然がないかと言われたら、どこにでも行けるし。忍城もあって、埼玉古墳もあって、素晴らしいですよ。古墳でサッカーしてましたね。
―今後どんな街になつて欲しいとありますか？
年々、浮き城まつりの規模が小さくなつていってると噂は聞くから、活気づいてくれれば良いですよ。いろいろなことに手を出して行田が盛り上がりつていけば、あとゼリーフライとか。いろいろ



よ。毎回道端のよくわからない雑草を拾ってきて、教室の鉢に植えてましたね。
―今後の挑戦してみたい役は？
先生役とかやってみたい。医療系だったり刑事だったり、いろいろ幅広く来た役はやりたくなつて思っています。時代劇もやっていきたいし。23歳の若さで国民的な時代劇「水戸黄門」に格さん役として入れたのは凄く貴重だったし、良かったなと思います。
―今後の挑戦してみたい役は？
先生役とかやってみたい。医療系だったり刑事だったり、いろいろ幅広く来た役はやりたくなつて思っています。時代劇もやっていきたいし。23歳の若さで国民的な時代劇「水戸黄門」に格さん役として入れたのは凄く貴重だったし、良かったなと思います。

「無くなってしまった文化祭を復活させたい」

ながぬま ひろゆき
昭和58年度生徒会長 **永沼 宏之** さん



「イチョウは歴史を重ねる木」と語る永沼さん。

今から37年前、ある生徒が公約に掲げ生徒会長に立候補にした。当時中学2年生だった永沼宏之さんである。
―「まだ、いちようの集いが続いてたんですか？」と嬉しそうに語る、永沼さんに話を聞いた。
―まずは、生徒会長に立候補して文化祭を復活させようとしていたとお聞きしましたが？
はい。当時、非行問題が社会問題化していて、文化祭がその影響で無くなつてしまつていました。それを体育祭もあるのだから文化祭もやりたいと生徒会長立候補の時に、公約の一つにして。お陰様で生徒会長になれましたが、学校側からは文化祭の話には一切触れられず、そのまま立ち消えになるかと思つていました。
―そうなんですか？
3年の夏頃かな。生徒会担当の渡辺勤先生から、「永沼、文化祭の話はどうするんだ？やりたいのか」と聞かれて、「やりたい！」と答えたから校長先生に掛け合つてくれたのか、実現することになったんです。「秋は体育祭もあるし、この時期しかできないぞ」と言われ、10月下旬にな

僕がこの世界に入ることになった時は中学生だったから、その時期からいろいろなことを思つて、夢掲げてやつていけば遅くはないし、いろんなことを経験して(でも先生困らせないように)頑張ってください。
僕がこの世界に入ることになった時は中学生だったから、その時期からいろいろなことを思つて、夢掲げてやつていけば遅くはないし、いろんなことを経験して(でも先生困らせないように)頑張ってください。

僕も喋つてくれないとかありません、小、中つて。いじめは大人になつて気づくよ、くだらないことだつて。「いじめ」がダサいということに気付け！って思っています。いじめてもそこに何も生まれないし、それで中学生のヒエラルキーの上になつたところで、社会人になつたらゼロからのスタートになるからね。
僕はシカトされて辛くて「行きたくない」ってグズつた時もあったんですけど、今考えると「正直、何だつたんだろ？」ってカンジですよ。
―いじめにあった時にどういう風に乗越えた？
誰も喋つてくれないとかありません。僕はそれを小学校の時に体験したからこそ、中学生の時はいじめてる側も何かさっかけないと、謝れないんですよ。だからそこは、無理矢理喋るとかこれが難しいんですよ。
―いじめしてる奴、ダセーって。そのいじめに興味ないよって。だったら、皆んなもつと楽しく、仲良くできる環境にしてあげた方が楽しいんじゃないかって思っています。



サインを頂きました。やっぱり行中魂ですよ！

場所も体育館から産業文化会館に移し、「生きるをテーマにした第一回いちようの集いは、あまりの素晴らしさに先生たちの評価も上々だったよっだ。
―いちようの集いの名前の由来について。学校のシンボルツリーはスズカケノキだったそうですが、なぜイチョウだったのでしょうか？
当時、シンボルツリーがスズカケノキで知らなかつたんです(笑)。私の考えるイチョウの木イメージは、真っ直ぐに伸びて成長すること、それから大昔の、それこそ恐竜の時代からあつた植物だと聞いていたので、いちようの集いがずっと長く続くようにと考えました。当時はたくさんあつたんですが、行田中にイチョウはそんなにないだろつて、後から言われたりしました。
―最後に在校生にエールを。
行田中学校は、特に地域とのつながりが深い学校です。行田全体の歴史を背負つた中学校であること意識してもらいたいですね。
いちようの集いが生徒一人一人の成長の糧になり、行田中のよき伝統として残ることを願つた先輩たちの努力を、決して無駄にしてはいけないと思いを新たにしたい。(参考:こだま第97号、生徒会報34号)
※昭和57年4月8日、新入生による記念植樹が行われ、二百本余のイチョウの苗木が植えられたそうです。(こだま第89号より)

行中生を代表して

第34回 浮き城のまち行田
少年の主張大会

10/26 みらいホール

祝「教育長賞」受賞



3年 渋谷瑠良さん

「篠笛がつなぐもの」

地域の伝統芸能である、ささら獅子舞の篠笛の伝承を通して考えた、人とのつながりを発表し、「教育長賞」を受賞しました。



中学生海外派遣研修事業
7/25~7/31 オーストラリア

大久保佑莉さん 綿貫茉凜さん 峯岸あいさん

北埼玉地区英語弁論大会
9/26 大利根アスタホール



3年 越もえ香さん

「This is me」

流暢な英語で自らの体験を明るく爽やかな表情で発表し、「優良賞」を頂きました。

合唱コンクール

～心に響け!天まで届け!

光れわれらのハーモニー～

指揮者賞



1-1 加相日々季さん



2-3 坂口文月さん



3-1 遠藤凧紗さん

伴奏者賞



1-3 佐々木頼愛さん



2-1 荒井瑞希さん



3-3 野口陽菜さん

職員合唱「ふるさと」

今年から全校合唱のかわりに、各学年ごとの学年合唱が加わりました。それぞれの学年の特色をいかした、素晴らしい歌声を響かせてくれました。行田中「合唱コンクール」の新しい風景がまたひとつ増えました。



学年合唱



10月19日

小雨が降るあいにくの天気でしたが、子どもたちの歌声を聴くためにたくさんの方々が行田中学校に集まりました。合唱コンクールでは一人ひとりが真剣なまなざしで発表に臨み、体育館いっぱいに美しい歌声が響き渡りました。

最優秀賞



3年1組 「fight」

10/24
行田市小中学校
音楽会に参加しました!



優秀賞



1年2組 「この星に生まれて」



2年1組 「ほらね」



3年3組 「虹」

PTA合唱「パプリカ」



届いた心のハーモニー
実行委員長 松本 恵理菜

今年「心に響け!天まで届け!光れわれらのハーモニー」というスローガンのもと合唱コンクールが行われました。どのクラスも心に響く美しいハーモニーを聴かせてくれました。全員が最優秀賞を目指して頑張ったからこそ出せた結果です。また、合唱を楽しむ気持ちは来校してくださった方々にも伝わったことと思います。記憶に残るひとときとなりました。



響き渡る心

音楽担当 松本 拓也

今年度は本校体育館での開催となりました。練習では広い空間に戸惑い、思うように声が出せない生徒が多かったように思います。しかし、さすが行中生。本番当日はどのクラスも思いが込められている充実した合唱を響かせてくれました。人を感動させることはとても難しいことです。人の心を動かした自分自身の力を信じて、これからも成長していきたいと思います!



親子除草 8/17(土)
厚生部除草 9/14(土)



学校の環境整備として除草作業が行われました。今年の夏は雨が多く緑いっぱいだった校庭も、先生や生徒、PTAのみなさまのおかげできれいになりました。

第1回 資源回収 8/3(土)



強い日差しが照りつける中、資源回収が行われ、部活動の生徒も分別作業を手伝いました。今回の収益金23,810円は教育資金に活用されます。

みなさまのご協力に感謝！

第3回 家庭教育セミナー・閉講式 11/30(土)

調理実習「うどん打ちに挑戦！」

講師：埼玉県立加須げんきプラザの先生方

行田中学校調理室にて行われた実習は、田丸屋さんに提供していただいた地粉を使ったうどん打ち。閉校式には、佐間公民館富田政博館長よりお言葉を頂きました。



ロードレース大会 11/21(木)

秋風吹く晴天の中、元気いっぱいスタート！ゴールまであきらめずに走り続けた達成感は、輝く汗を拭う笑顔から伝わってきました。



上位10名入賞者 3000M

| 1年男子 | 1年女子 | 2年男子 | 2年女子 | 3年男子 | 3年女子 |
|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 1位 平野 孝耶 | 山元 海尋 | 1位 田口 凜琉 | 袴田 葵 | 1位 狩浦 斗希 | 越 もえ香 |
| 2位 大竹理玖斗 | 小島 麻未 | 2位 岡部 煌 | 松田 雫 | 2位 鯨井 崇太 | 荻原 花梨 |
| 3位 正田 未来 | 福島結羽菜 | 3位 船橋 流空 | 蓮沼 那琉 | 3位 岡部 煉 | 小島 愛未 |
| 4位 鈴木 陽紘 | 渡邊陽菜子 | 4位 大須賀羽京 | 藤野 心咲 | 4位 平野 瑛也 | 遠藤 凧紗 |
| 5位 平野 凌羽 | 古川 瑛華 | 5位 山手 大湊 | 飯塚 未莉 | 5位 山下 朔矢 | 今園 舞彩 |
| 6位 石井 渚 | 生出 菜子 | 6位 船橋 蒼空 | 白根 雛花 | 6位 服部 宗将 | 小池 佑希 |
| 7位 二見 桔平 | 渡邊 葉菜 | 7位 福島 永遠 | 加相 沙和 | 7位 加相 政宗 | 堀越 佑佳 |
| 8位 田中 流衣 | 田島 悠依 | 8位 武井 裕燈 | 大久保美花 | 8位 鎌田 翔椰 | 大久保佑莉 |
| 9位 岡村夏波斗 | 加藤 綾夏 | 9位 篠田 祐太 | 柴田 紗椰 | 9位 清水 堅太 | 野辺たま希 |
| 10位 鈴木 康太 | 小山内夏璃 | 10位 福島凜太郎 | 柴崎 玲那 | 10位 中澤 綾斗 | 須永 紋菜 |

★★★11月19日の献立★★★



行田市市制70周年を記念した給食のメニューです。行田市も行田中と同じ70周年！



校長先生も一緒に走りました

ラグビーワールドカップの日本開催により、世界中が熱狂の渦につつまれる中、行田市の隣にある熊谷ラグビー場でも試合が行われています。行田中学校では、女流棋士の矢内さんをお招きして開校70周年記念式典が行われました。この機会に広報部は、本校を卒業し活躍されている方々取材しました。それぞれ進まれた道は違いますが、どの先輩も過ごしやすかった行田中での楽しい思い出を語られていました。

編集後記

| 女子ダブルス | 女子シングルス | 女子団体 第3位 | 女子団体 第3位 | 女子100mH | 女子走高跳 | 女子走幅跳 | 男子4x100m | 男子200m | 男子100m | 2年男子100m | 1年男子100m | 陸上 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 池田 牙映・高澤 天寧 | 池田 牙映・今井 友美 | 池田 牙映・今井 友美 | 加相 沙和・内山 真緒 | 船橋 蒼空・船橋 流空 | 第1位 柴崎 玲那 | 第3位 柴崎 玲那 | 第3位 平野 孝耶・田中 流衣 | 第4位 船橋 流空 | 第5位 田中 流衣 | 第6位 船橋 流空 | 第1位 田中 流衣 | 第1位 田中 流衣 |

令和元年度北埼玉地区中学校秋季体育大会

《真大会出場者》

2学期の主な表彰